



ほんきであれ

多古町立多古第一小学校

2023年3月20日24号 名上健一

—夢をもち、自ら学び、自ら考え、心豊かにたくましく生きる子どもの育成—

令和4年度 卒業証書授与式

～ご卒業おめでとうございます～



3月17日(金)、令和4年度の卒業証書授与式を挙行了しました。

天候にも恵まれ、厳粛な中、卒業生61名全員がしっかりと卒業証書を受け取りました。大変堂々とした立派な姿でした。今年度は、昨年度よりも制限を少なくし、参加者は御来賓と保護者の皆様、5年生全員、学校職員、そして在校生(1～4年生リモート)でした。卒業生は、心のこもった呼びかけとその中での素晴らしい歌声(合唱)を披露しました。また、在校生からも「送る言葉」の呼びかけが行われ、素晴らしい卒業式となりました。

今年度も昨年に引き続き、コロナ感染症拡大による影響が大きかった中での教育活動で、規模を縮小しての実施が多くなりました。そのような中でも、6年生を中心に、校訓「ほんきであれ」の精神のもと全校が一つとなってまとめ、学校行事や委員会活動、部活動等に全力で取り組んできました。そして、数多くの成果を上げることができました。

卒業生には、本校で学んだ経験を活かして、中学校へ進学しても自分の目標に向かって努力を継続してほしいと願っています。

最後に、保護者の皆様には、本校に対して、これまでたくさんの御協力と御支援をいただき心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

※学校日より「ほんきであれ」は、ホームページからでもご覧になれます。





<呼びかけ(卒業の言葉)>



<呼びかけ(送る言葉)>



<6年担任からの最後の言葉>

第 148 回 創立記念式典を行いました

3月14日(火)、多古第一小学校の創立記念式典を行いました。創立記念式も148回目を迎えました。本校の創立は、明治 8 年(1875 年)3 月 14 日です。多古町では、常磐小学校が1番古く、明治 7 年 1 月 15 日創立。本校は 2 番目となります。

式典では、本校の主な歴史と世界の子供たちの現状について、話をしました。

本校の歴史として、校訓「ほんきであれ」が 明治 29 年(1896 年)11 月 3 日に制定されたこと。その年は、第 1 回オリンピックがアテネで開催されたこと、千葉県の間が今と同じ形になったことなどを話しました。

世界の子供たちの現状については、「世界がもし 100 人の村だったら」という本をもとに、世界の子供たちは、20 人に 1 人が 1 歳まで生きられないこと。5 人に 1 人が小学校に通えないこと、5 人に 1 人しか文字を読める子どもがいないことなど、世界の子供たちと比較すると日本の子供たちは恵まれていることを話しました。話を聞いて驚いている子供も少なくありませんでした。

今後ますます社会の変化が激しさを増してくることが予想されますが、子供たちの心の柱である「ほんきであれ」の精神を受け継ぎ、どんな困難にも立ち向かうことができるように、少しずつ成長してほしいと願っています。

※学校日より「ほんきであれ」は、ホームページからでもご覧になれます。



※学校だより「ほんきであれ」は、ホームページからでもご覧になれます。

